

50万分の1活構造図「東京」(第2版) 地震構造図

本図には、最近の微小地震(マグニチュード2~5.5)の震央とマグニチュード6以上の大地震の震央を震源域の広さに比例する大きさの円で表示した。図中のオレンジ色の円が微小地震、赤色の中空き円が1885年以降の大地震、緑色の中空き円が1884年以前の大地震である。震央円には地震が発生した年月日も付記した。また、駿河トラフ及び相模トラフ沿いの巨大地震の震源域を青色の楕円で近似して示した。さらに、太平洋プレートとフィリピン海プレートの上面をそれぞれ茶色と緑色の等深線で表示した。<地質調査所 佐竹健治・杉山雄一, 防災科学技術研究所 石田瑞穂>

